

乳がんサバイバーの方と
オンライン国際交流を行いました
2021.10.11



看護学科1年生を対象とする「医療英語」の授業のなかで、オンラインでの国際交流を実施しました。今回は、米国オレゴン州ポートランドから、乳がんサバイバーで結成されたドラゴンボートチーム、Pink Phoenix（ピンクフェニックス）のメンバー6名にご参加いただきました。本学の海外研修プログラムには、例年、ドラゴンボート体験と交流会が含まれていますが、そのときにお世話になっているのが、Pink Phoenixの方たちです。

今回の交流では、メンバーの方々から、乳がん発症からPink Phoenix参加に至るまでの経緯や、参加後の身体的・心理的变化をお話しいただきました。



2019年ドラゴンボート体験の様子



参加された
Pink Phoenix
のメンバー

本学からは、代表の学生6名が英語で大学紹介を行いました。その後、英語で質疑応答を行いました。参加した学生からは、「とても貴重な時間を過ごせた」、「前向きに行動している姿に元気をもらいました」、「患者様に寄りそうことの大切さを改めて感じました」などの感想が寄せられました。

また、Pink Phoenixに参加することで社会に居場所を見つけ、乳がんを乗り越えて明るく健康的に生きる彼女たちを見て、このような活動が日本にもあれば良いと感じた学生も多くいました。今回の交流は、学生達にとって貴重な経験となっただけではなく、参加したサバイバーの方からも「学生達からパワーをもらえた」という感想をいただきました。

今回の交流は、ポートランドの現地コーディネーターである中田様 (KANEMASU LLC)にご協力頂いて実現することができました。深く御礼申し上げます。

英語で発表を行った本学代表の学生達

